Canon

Satera MF3110

ユーザーズガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- **製品の設定方法については**
- **ソフトウェアのインストールについて知るには**

セットアップシート

- **コピーおよびプリントに関する説明については**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド (本書)

- **ソフトウェアのインストールおよび説明については**
- **プリントおよびスキャナ動作ついて知るには**
- **困ったときには**

ソフトウェアガイド

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。
- 表紙のイラストはお買い求めの製品の外観と多少異なることがあります。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

ユーザーズガイドの構成について

本製品の仕様や索引を掲載しています。

目次

第 3 章　原稿の取り扱い

第 4 章　コンピュータからプリントする

第 5 章　コピーするには

第 6 章　スキャンする

第 7 章　システムモニタ

第 8 章　メンテナンス

第 9 章　困ったときには

第 10 章　本体の設定

第 11 章　付録

はじめに

このたびは Canon Satera MF3110 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、操作するキーを以下のように記号と [ ] を用いて表しています。[ ] 内には操作パネル上のキー名称が示されています。

[スタート] を押します。

画質 [画質] を押します。

ディスプレイに表示されるメッセージ

ディスプレイのメッセージには以下のように < > で囲んで表しています。

- <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> が表示されたときは、本製品は原稿を読み取れません。
- ディスプレイに <2in1> が表示されます。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera はキヤノン株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］

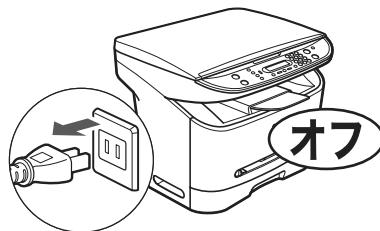
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。誤った使い方をされますと、けがの原因になることがあります。また、通常の使い方以外で発生した故障は保証の対象外となりますのでご注意ください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源コードを抜いてお買い求めの販売店またはサービス担当にご連絡ください。
  - ・ネックレスなどの金属物
  - ・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
  - ・スピーカなど磁気を含んだ機器や、磁界を生ずる機器に近い場所

・風通しの悪い場所に設置しないでください。
本機は使用中オゾンを発生します。オゾンの量は人体に影響を及ぼすほどの量ではありませんが、風通しの悪い場所で長時間使用したり、大量の印刷をしたりするときは喚気に十分留意し、環境に配慮して使用してください。

・本機の通風孔を壁や他の機器などから１０ cm 以上離して設置してください。

・温度差の激しい場所に設置しないでください。０〜３５度の環境でお使いください。

・湿度３５〜８５ % の環境でお使いください。

・屋外での設置や使用は避けてください。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分ですと、火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
〈アース線を接続してもよいもの〉

  電源コンセントのアース端子

  接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  〈アース線を接続してはいけないもの〉

  水道管 :配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。

  電話線のアースや避雷針：落雷のときに大量の電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。
- 原則的に延長コードを使用しないでください。また、延長コードの多重配線をしないでください。火災や感電の原因になることがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100 V15 A 以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- コンセントに差し込んだ機器の使用電力の合計がブレーカの許容電力を超えないようご注意ください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 雷雨の時は本機の電源コードをコンセントから抜いてください。落雷により火災や感電の原因になることがあります。

重要

- 電源プラグとコンセントの接合部分のまわりにごみが付着したら乾いた清潔な布でふき取ってください。
- エアコンやテレビ、コピー機などと同じコンセントに接続しないでください。ノイズを発生したり、本機の操作に不具合を生ずることがあります。
- 次のような場合は本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - ・本機の中に水などの液体がこぼれたとき
  - ・本機が雨に濡れたり水がかかったとき
  - ・同梱の取扱説明書の手順通りに操作しても本機が正常に動作しないとき

    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となりますのでご注意ください。
  - ・本機を落としたり、傷つけたりしたとき
  - ・本機の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本機の電源コードを無停電電源に接続しないでください。
- 本機の電源プラグを抜いたときは差し直すまでに５分以上間隔をおいてください。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源コードを抜いて、お買い求めの販売店またはサービス担当にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源コードを抜き、電話線コードを取り外してください。そのまま移動すると電源コードや電話線コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源コードを抜いてお買い求めの販売店またはサービス担当にご連絡ください。

注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードを抜いてください。
- レーザ光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開かないでください。
- カバー内部に貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

- 万一、レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。
- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

 取扱説明書に指定された手順以外の操作をすると放射線を浴びる危険があります。

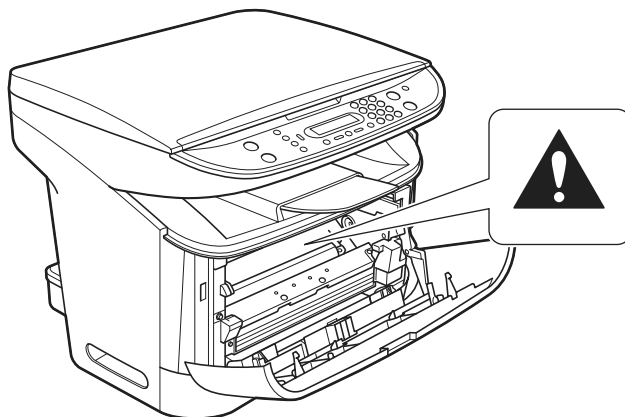
- 原稿台カバーは手をはさまないようゆっくりと閉めてください。けがの原因となります。
- 厚みのある本などを読み取るときに原稿台カバーを強く押し付けないでください。原稿台カバーを損傷したり、けがの原因となります。
- 強くゆすったり、ぶつけたりしないでください。
- 移動するときは必ず電源プラグを抜いてください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が見られましたら、すぐに電源を切り、当社のサービス担当にご連絡ください。

保守 / 点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは電源コードを抜いてください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを定期的に抜き、その周辺および電源コンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源コードを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように注意してください。やけどや感電の原因になることがあります。
- 使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに必ず水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散り、目や口に入らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- トナー容器を補給口から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などに入らないように、丁寧に取り出してください。万一、トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナー容器を火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。
- トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になることがあります。
- トナー容器を廃棄する場合は、回収窓口までお持ちいただくか、トナーが飛び散らないようにトナー容器を袋に入れて、自治体の指示に従って処理してください。

⚠ 注意

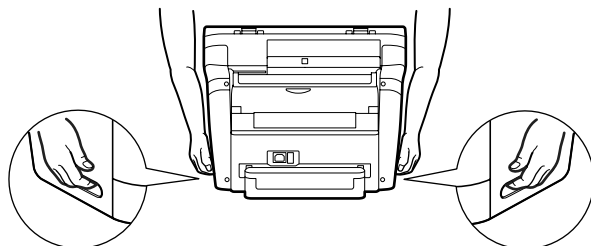
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
  ・本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

⚠ 注意

- 本機に貼付されている警告や手順にしたがってください。
  ・持ち運ぶときはトナーカートリッジをはずしてください。
  ・持ち運ぶときは下の図のように持ってください。

資源再利用のお願い

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■ 使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

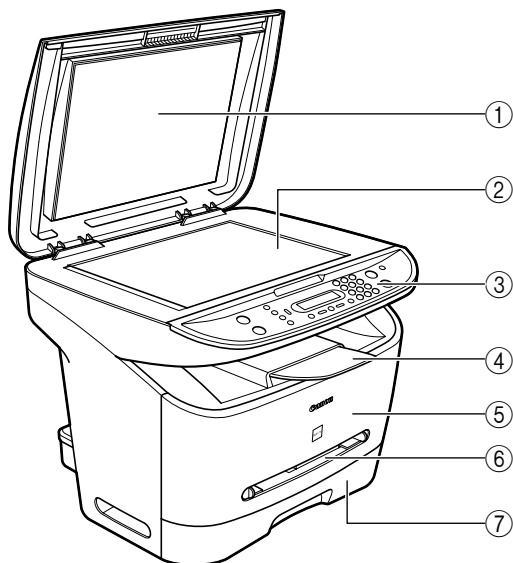
お使いになる前に

本製品の各部の名称とはたらき、操作パネル、待受表示について説明します。また節電機能の設定方法も説明します。

カスタマーサポート

本製品は、トラブルなく安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、第９章「困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、最寄りのキヤノン正規販売店またはキヤノンサービス担当にご連絡ください。

各部の名称とはたらき

前面図

① **原稿台ガラスカバー**
原稿をコピーやスキャンするために原稿台ガラス上に置くときに開きます。

② **原稿台ガラス**
原稿を置きます。

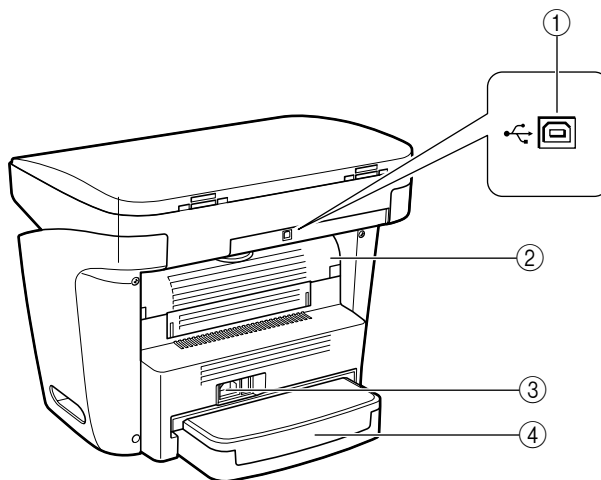
③ **操作パネル**
本製品を操作します。

④ **排紙トレイ**
出力紙を排紙します。

⑤ **フロントカバー**
カートリッジを装着したり、つまった用紙を取り除くときに開きます。

⑥ **マルチフィーダ**
手差しで1枚ずつプリントするときに使用します。

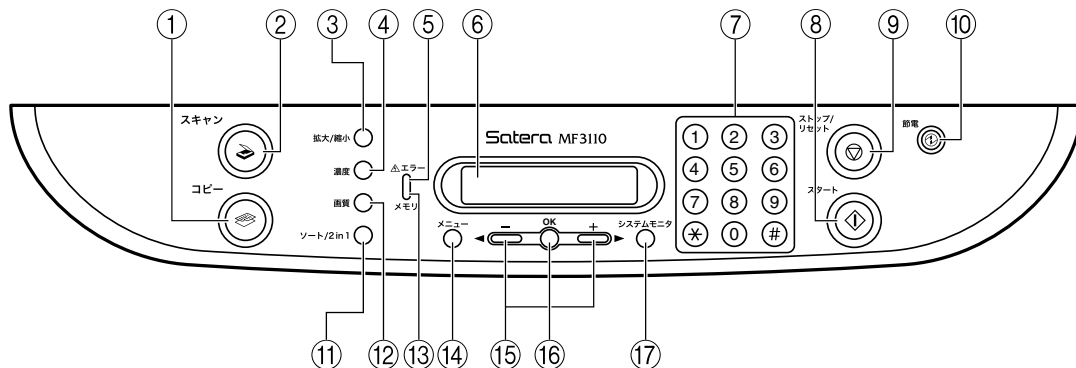
⑦ **カセット**
用紙をセットします。

背面図

① **USB ポート**
USB(Universal Serial Bus) ケーブルを接続します。

② **フェイスアップカバー**
用紙を上向きに出力する場合、またはつまった用紙を取り除く場合に開きます。

③ **電源ソケット**
電源コードを接続します。

④ **延長カバー**
カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。

操作パネル

① **[コピー] キー**
[コピー] モードに切り替えます。

② **[スキャン] キー**
[スキャン] モードに切り替えます。

③ **[拡大 / 縮小] キー**
コピーの拡大 / 縮小率を設定するときに押します。

④ **[濃度] キー**
コピーの濃度を調節するとき押します。

⑤ **⚠ エラーランプ**
紙づまりなどが発生した場合に点滅 (オレンジ) します。(ディスプレイにエラーメッセージが表示されます)。

⑥ **ディスプレイ**
メッセージや動作状況を表示します。また設定時に選択項目、テキスト、数字を表示します。

⑦ **テンキー**
コピー部数などの数字を入力するときに使用します。

⑧ **◇ [スタート] キー**
コピーやスキャンを開始するときに押します。

⑨ **▽ [ストップ / リセット] キー**
コピーなどの操作をキャンセルし、待受表示に戻すときに押します。

⑩ **[節電] キー**
手動で節電モードに設定したり解除するときに押します。節電モード設定中は緑色に点灯します。

⑪ **[ソート /2in1] キー**
コピーをページ番号順に仕分けしたり、2 枚の原稿を縮小して1枚の用紙にコピーするときに押します。

⑫ **[画質] キー**
原稿の画質を調節するときに押します。

⑬ **メモリランプ**
コピー中やメモリにコピーデータがあるときに緑色に点灯します。

⑭ **[メニュー] キー**
各種の設定・登録を行うときに使います。

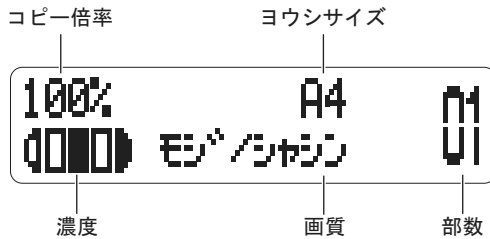
⑮ **[◀ (-)] および [▶ (+)] キー**
選択項目をスクロールするときに押します。

⑯ **[OK] キー**
設定または登録した内容を確定するときに押します。

⑰ **[システムモニタ] キー**
コピーやプリントの状況を確認するときに押します。

待受表示

待受表示は選択したモードに応じて異なります。

コピーモード、スキャンモードの待受表示は以下のようになります。

■ コピーモード

■ スキャンモード

メモ　本製品の電源を入れると、ディスプレイには <ｳｫｰﾐﾝｸﾞ ｱｯﾌﾟ ﾁｭｳ ...> と表示され、すぐに待受表示に切り替わります。

節電モード

本製品は節電モードで消費電力を抑えることができます。5分程度何も操作をしないと、自動的に節電モードに移行します。

メモ
- 節電モードに移行するまでの時間は、3〜30分の範囲で変更できます。また、節電機能をオフにすることもできます。節電モードの詳しい設定は「メニューの設定内容」の「2. オート セツデン」（→P.10-4）を参照してください。
- 次の状態のときは、節電機能は働きません。
  - ・コピー中またはプリント中
  - ・読み取り中
  - ・コピーをメモリに保存中、ソートその他の機能が動作中、またはメモリランプの点灯中
  - ・紙づまりが発生した場合
  - ・エラーコードが表示され、エラーランプが点滅しているとき
  - ・カセットの用紙が切れたとき
  - ・マルチフィーダに用紙がセットされている場合
- コンピュータからプリントジョブをしたときは自動的に節電モードが解除されます。

節電モードを手動で設定する

1 [節電] を押します。

ディスプレイ表示が消えて、[節電] が点灯します。

メモ　本製品が節電モードから復帰した直後、またはコピー終了直後は、15秒以上間隔をおいてから、[節電] を押してください。

節電モードを手動で解除する

1 [節電] を押します。

[節電] が消灯し、待受表示に戻ります。

メモ　本製品は通常ただちに節電モードから復帰します。ただし室温や周囲の環境などによって異なる場合があります。

用紙の取り扱い

本製品で使用できる用紙やセットの方法、原稿の出力場所について説明します。

使用可能な用紙

高品質のコピーを行うために、キヤノン推奨の用紙や OHP フィルムをお使いになることをおすすめします。事務用品店で市販されている用紙の中には、本製品での使用に適さない製品があります。詳細は、キヤノン正規販売店またはキヤノンサービス担当までお問い合わせください。

■ 用紙の保管

紙づまりを防ぐため、以下の注意事項をお守りください。

- 湿気を防ぐため、使用しない用紙は包装紙でしっかり包み直して保管してください。直射日光の当たらない、湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙はカールしないように立てずに平らにして保管してください。
- 用紙がカールしている場合は、カセットやマルチフィーダにセットする前に平らになるように戻してください。カールしていると、用紙がしわになり、紙づまりの原因となります。

■ 使用できない用紙

次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりが発生する場合があります。

- ひどくカールした用紙やしわのある用紙
- カラーコピー機やプリンタ用の OHP フィルム
- 片面がすでにデジタルカラーコピー機でプリントされている用紙（裏紙は使用しないでください）
- 片面がすでに熱転写プリンタでプリントされている用紙 (裏紙は使用しないでください)

重要　カラーOHP フィルムにはプリントしないでください。故障の原因となることがあります。

■ 使用可能な用紙

	カセット / マルチフィーダ
用紙サイズ	A4、B5、A5、エグゼクティブ*1、レター、リーガル*2、封筒*2 (ISO-C5、洋形４号、洋形２号)、はがき *2、往復はがき *2
重量	64 g/m^2 〜 128 g/m^2
紙種	普通紙、再生紙、厚紙、OHP フィルム、封筒

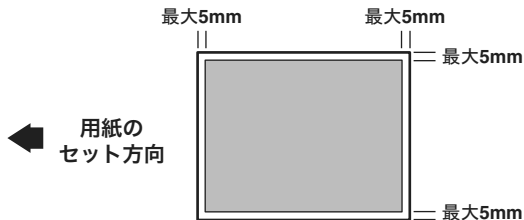
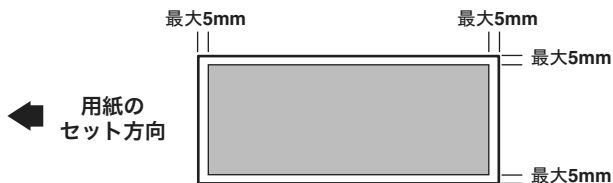
*1 カセットのみ
*2 マルチフィーダのみ

メモ
- 用紙サイズ、紙種、指定枚数によって、通常よりもプリント速度が遅くなる場合があります。これは本製品の過熱を防ぐための安全機能の働きによるものです。
- 用紙の種類によっては、カセットやマルチフィーダにきちんとセットできない場合があります。

プリント範囲

プリント範囲とは、最良のプリント品質が得られる推奨領域と、本製品がコンピュータから技術的にプリント可能な領域の 2 つの意味があります。

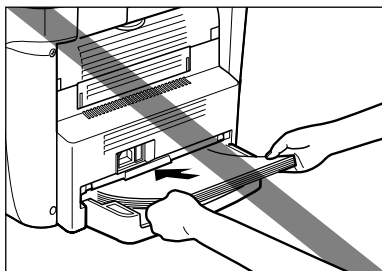
プリント範囲 (淡色部分)：この範囲にプリントすることをおすすめします。

■ 用紙

■ 封筒

メモ　コピー範囲はプリント範囲よりも若干広くなっています。

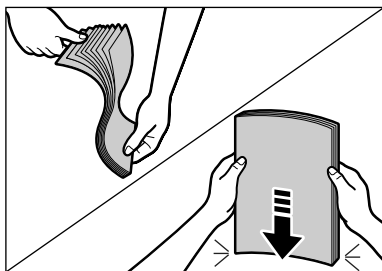
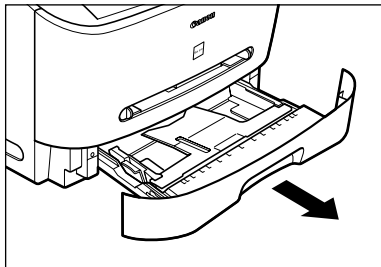
用紙のセット

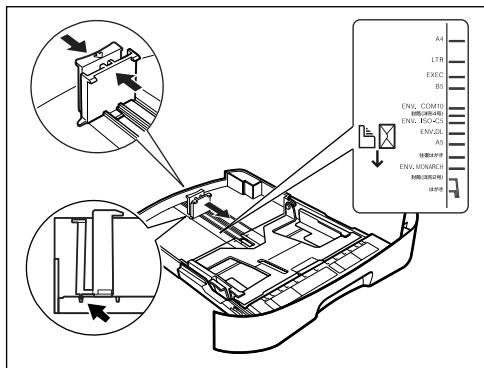
カセットおよびマルチフィーダへの用紙のセット方法を説明します。

注意 用紙をセットする際は、用紙の端で手を切らないようにご注意ください。

重要 カセットをセットした状態で本製品の背面から用紙をセットしないでください。内部の給紙部品を損傷するおそれがあります。

メモ
- マルチフィーダにセットされた用紙は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- カセットには、最大で 64 g/m^2 の用紙約 250 枚をセットできます。

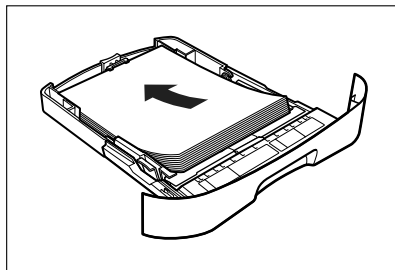
用紙をカセットにセットする

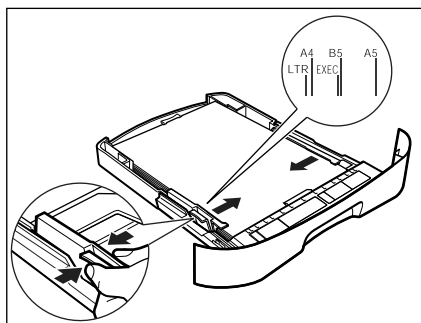
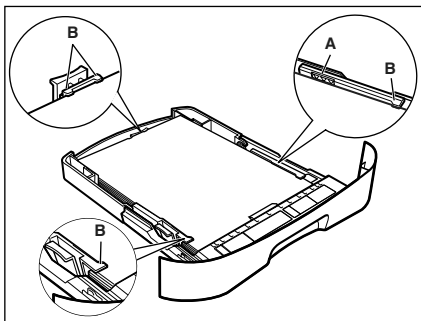
1 **用紙をもって端をさばいてから、平らな場所で用紙の縁を揃えます。**

2 本体からカセットを完全に抜き出します。

重要　カセットはまっすぐに引き出してください。斜めに引っ張ると内部の紙有無レバーを損傷することがあります。

3 カセット後ろ側のペーパーガイドのツマミを押して、ペーパーガイドをスライドさせ用紙サイズのマークに合わせます。

メモ　ペーパーガイドが用紙サイズの溝にきちんと収まっていることを確認してください。

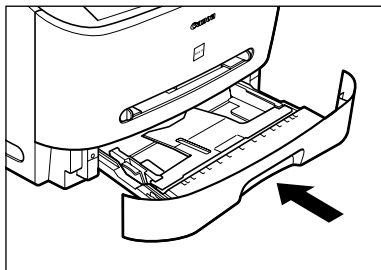
重要　ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

4 プリントしたい面を下にして、用紙をカセットにセットします。

ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面 (ロゴ側) を下にして、用紙の下端から先にカセットにセットします。

5 カセット両端のツマミを押しながら、ペーパーガイドをスライドさせ用紙サイズのマークに合わせます。

左右のペーパーガイドは同時に動きます。

用紙の高さがガイドの印 (A) を超えず、ペーパーガイドのツメ (B) の下に収まるようセットしてください。

重要

- サイズや種類の異なる用紙を同時にセットしないでください。
- カセットに用紙が残っているときに、用紙を追加しないでください。
  用紙を追加する場合は、カセット内に残っている用紙をいったん取り出してから、新しい用紙と一緒にして端を揃えてセットしなおしてください。

6 カセットを本体に戻します。

重要　カセットは斜めに押し込まないでください。本体内部の紙有無レバーを損傷することがあります。

メモ　カセットが本体の奥までまっすぐ差し込まれていないと、紙づまりが発生することがあります。

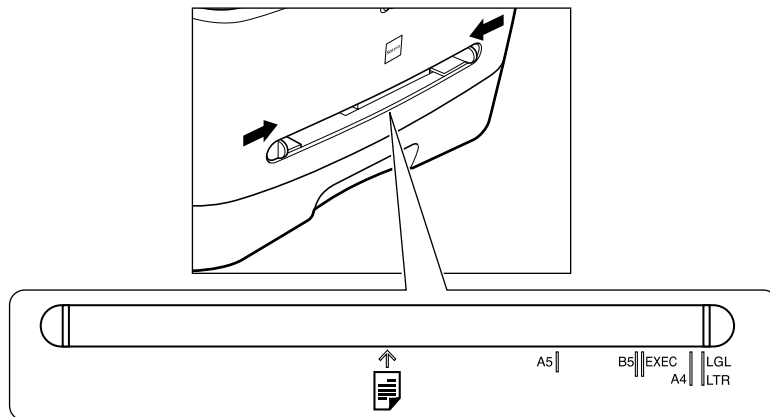
7 セットした用紙のサイズと種類を設定します。

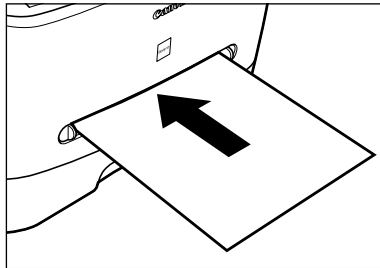
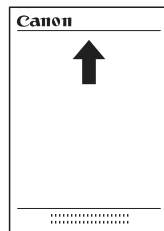
用紙のサイズと種類の詳しい設定方法は、「用紙のサイズと種類を指定する (カセットおよびマルチフィーダに共通)」(→ P.2-9) を参照してください。

用紙をマルチフィーダにセットする

カセットにセットされている用紙と異なる用紙にコピーまたはプリントする場合は、マルチフィーダを使用します。マルチフィーダには用紙を 1 枚ずつセットします。

メモ　マルチフィーダにセットされた用紙は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。

1 ペーパーガイドをスライドして用紙サイズのマークに合わせます。

重要　ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

2 プリントしたい面を上向きにして、用紙をマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。

メモ　ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面 (ロゴ側) を上にして、用紙の上端から先にマルチフィーダにセットします。

3 セットする用紙のサイズと種類を設定します。

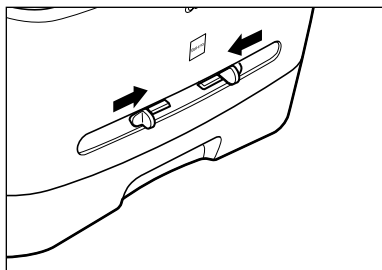
用紙のサイズと種類の詳しい設定方法は、「用紙のサイズと種類を指定する (カセットおよびマルチフィーダに共通)」(→ P.2-9) を参照してください。

封筒をマルチフィーダにセットする

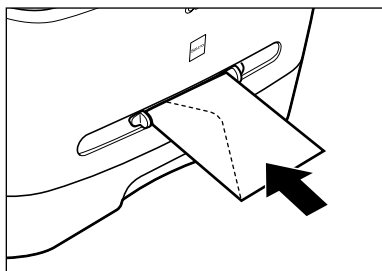
封筒に 1 枚ずつコピーまたはプリントする場合は、マルチフィーダを使用します。

重要 推奨する封筒は ISO-C5、洋形 4 号、洋形 2 号です。これ以外の封筒を使用すると、きちんとプリントされないことがあります。

メモ マルチフィーダにセットされた封筒は、カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。

1 **ペーパーガイドをスライドさせてセットしたい封筒のサイズに合わせます。**

重要 ガイドが封筒のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

2 **プリントしたい面を上にして右端 (切手を貼る側) から先に封筒をマルチフィーダにまっすぐに差し込みます。**

入れようとする封筒の短いほうの辺にフタがついている場合、かならずフタのついている側からマルチフィーダに差し込みます。この向きに入れないと紙づまりの原因になります。

3 **セットしたい用紙のサイズと種類を設定します。**

用紙のサイズと種類の詳しい設定方法は、「用紙のサイズと種類を指定する (カセットおよびマルチフィーダに共通)」(→ P.2-9) を参照してください。

用紙のサイズと種類を指定する(カセットおよびマルチフィーダに共通)

用紙サイズを指定する

工場出荷時には、用紙サイズは <A4> にセットされています。カセットやマルチフィーダにセットする用紙のサイズを変更するときは、次の手順で用紙サイズを設定してください。

1 [メニュー] を押します。

2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。

3 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ｶｾｯﾄ> または <ﾃｻﾞ ｼﾄﾚｲ> を選択し、[OK] を押します。

4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ> を選択し、[OK] を押します。

5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、適切な用紙サイズを選択し、[OK] を押します。

以下の用紙サイズを選択することができます。
A4、B5、A5、ISO-C5*2、ﾖｳｶﾞﾀ4ｺﾞｳ*2、ﾖｳｶﾞﾀ2ｺﾞｳ*2、LTR（レター）、LGL（リーガル）*2、EXEC（エグゼクティブ）*1、ﾊｶﾞｷ*2、ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ*2。

*1 カセットのみ
*2 マルチフィーダのみ

6 [ストップ/リセット] を押して、待受表示に戻ります。

2 用紙の取り扱い

用紙の種類を指定する

用紙は <ﾌﾂｳｼ> が初期設定で選択されています。普通紙以外の用紙を使用するときは、次の手順で紙種を設定してください。紙種を設定すると、プリント品質の低下やプリント不良を防ぐことができます。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ｶｾｯﾄ> または <ﾃｻﾞ ｼﾄﾚｲ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、<ｶﾐｼｭ> を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、適切な紙種を選択し、[OK] を押します。**

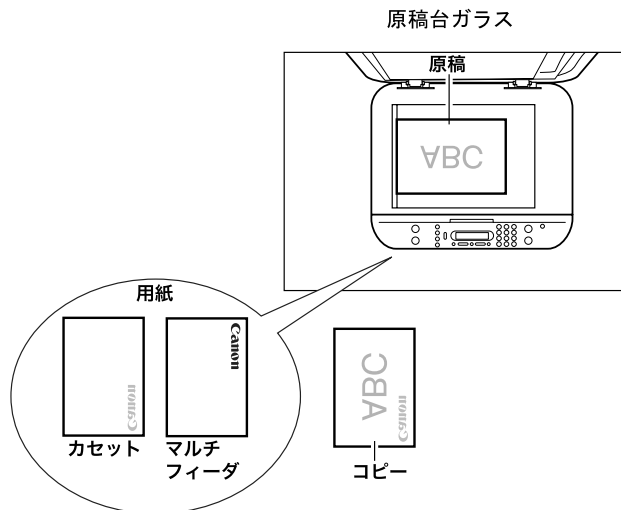
以下の紙種を選択することができます。

・普通紙 (64g/m^2 ～ 90g/m^2)：<ﾌﾂｳｼ>、<ﾌﾂｳｼ L>[*1]
・厚紙 (91g/m^2 ～ 128g/m^2)：<ｱﾂｶﾞﾐ>、<ｱﾂｶﾞﾐH>[*2]
・OHP フィルム：<OHP ﾌｨﾙﾑ>
・封筒：<ｱﾂｶﾞﾐ>、<ｱﾂｶﾞﾐH>[*2]

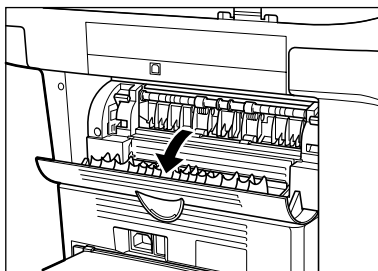
*1 <ﾌﾂｳｼ> を選択してプリントすると用紙がひどくカールするときは、<ﾌﾂｳｼL> を選択してください。
*2 <ｱﾂｶﾞﾐ> を選択してプリントすると薄くなるときは、<ｱﾂｶﾞﾐH> を選択してください。

6 **[ストップ / リセット] を押して、待受表示に戻ります。**

原稿および用紙のセット方向

原稿を原稿台ガラスにセットする場合およびカセットまたはマルチフィーダにセットする用紙の方向は次のとおりです。

排紙エリアの選択

フェイスダウン排紙を選択すると、プリント面を下にして排紙トレイに排出されます。フェイスアップ排紙を選択すると、プリント面を上にして排紙エリアから排出されます。フェイスアップカバーを開閉して、目的に合わせて排紙エリアを選択してください。

フェイスアップカバーを開くとフェイスアップ排紙、フェイスアップカバーを閉じるとフェイスダウン排紙になります。

重要　コピー中やプリント中にフェイスアップカバーを開閉しないでください。

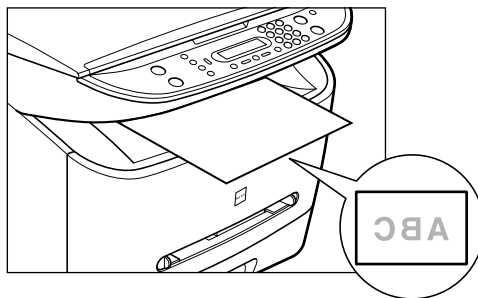
紙種と排紙エリア

紙種および目的に合わせて、最適な排紙エリアを選択してください。

紙種	排紙エリア	出力枚数
普通紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 60 枚 (64 g/m^2 ～ 75 g/m^2)
再生紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (64 g/m^2 ～ 75 g/m^2)
厚紙	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	約 30 枚 (75 g/m^2 ～ 128 g/m^2)
OHP フィルム	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	10 枚
封筒	フェイスアップ	1 枚
	フェイスダウン	10 枚

フェイスダウン排紙エリア

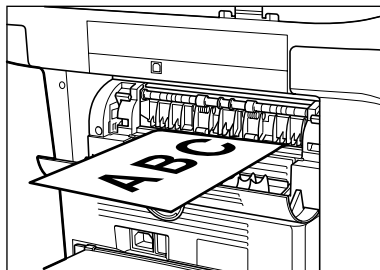
プリント面を下にして用紙がトレイに排出されます。
用紙はプリントされた順に積み重ねられます。

フェイスアップカバーを閉じて、排紙トレイを引き出します。

重要
- 排紙トレイに排出された用紙を押し戻さないでください。紙づまりの原因になります。
- 排紙トレイには用紙以外のものを載せないでください。紙づまりの原因になります。

フェイスアップ排紙エリア

本製品背面のフェイスアップ排紙エリアにプリント面を上にして用紙が排出されます。
用紙は本製品からまっすぐに排出されるため、カールしやすい OHP フィルム、封筒のプリントに便利です。

フェイスアップカバーを開いてください。

- 排出された用紙は 1 枚ずつ取り除いてください。

重要

- 用紙を無理に引き出さないでください。
- 本製品にはフェイスアップ排紙トレイは装着されていません。排出された用紙は手で取り除いてください。
- 紙づまりを防ぐため、フェイスアップ排紙エリアの前にはものを置かないでください。

原稿の取り扱い

3
CHAPTER

本製品でスキャン、コピーできる原稿の種類と、原稿のセット方法を説明します。

使用可能な原稿

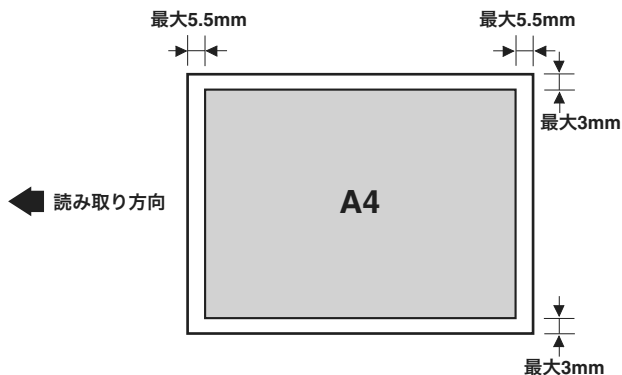
原稿台ガラスには次のような原稿をセットしてコピー、スキャンすることができます。

	原稿台ガラス
原稿の種類	普通紙 厚紙 写真 小型原稿 (名刺サイズ等) 特殊紙 (トレーシングペーパー *、OHP フィルム * 等) 本
サイズ (W x L)	最大 216 mm x 297 mm
枚数	1 枚
重量	最大 2kg

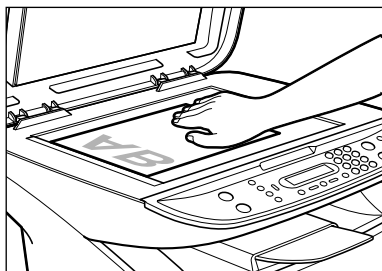
* トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をスキャンおよびコピーする際には、原稿の裏に白紙を 1 枚重ねて置いてください。

メモ
- 小さいサイズの原稿をコピーする際には、通常よりもコピー速度がやや遅くなります。
- 原稿台ガラスに置く前に、原稿ののりやインク、修正液を完全に乾かしてください。

原稿の読み取り範囲

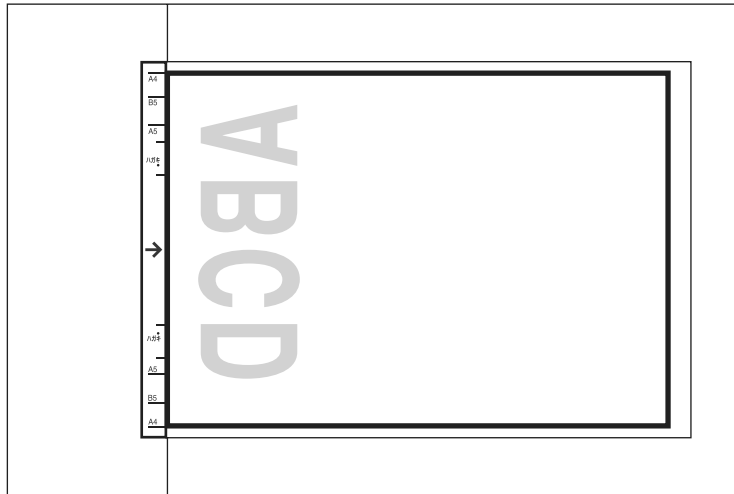
原稿の読み取り可能範囲は次の図の淡色部分です。原稿の文字や画像がこの範囲内に収まることを確認してください。

原稿台ガラスに原稿をセットする

1 **原稿台ガラスカバーを開きます。**

2 **原稿を下向きに原稿台ガラスに置きます。**

原稿をセットする際には、原稿台ガラス左側の用紙サイズマークを参照してください。

・原稿が標準サイズ (A4 または A5 等) の場合は、上下の用紙サイズマークに原稿をあわせてセットしてください。

・原稿のサイズが分からないとき、または原稿がどの用紙サイズのマークにも合わないときは、原稿の中心線を→マークに合わせてください。

A4 サイズの原稿を原稿台ガラスにセットする方法を次の図に示します。

3 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。

原稿を読み込む準備ができました。

コンピュータからプリントする

4
CHAPTER

付属の CD-ROM のプリンタドライバを使ってコンピュータからプリントする方法を説明します。

プリントする前に

プリントする前にプリンタドライバをコンピュータにインストールしてください。

- インストールがお済みでないときは、セットアップシートか、ソフトウェアガイドの第 1 章「お使いになる前に」を参照してください。

本製品が通常使うプリンタとして設定されていることを確認してください。

- 本製品が通常使うプリンタとして設定されているときは、アプリケーションで[印刷]ダイアログボックスを開いたときに本製品がプリンタに選択されています。(詳しくは次ページをご覧ください)。

本製品が選択されていない場合は次の手順にしたがってください。

1 [プリンタとFAX](Windows 98/Me/2000では[プリンタ])フォルダを開きます。

● **Windows XP の場合：**

❑ [スタート] をクリックします→ [プリンタと FAX] を選択します。

● **Windows 98/Me/2000 の場合：**

❑ [スタート] をクリックします→ [設定] → [プリンタ] を選択します。

2 Canon MF3110 アイコンをクリックします。

3 [ファイル]メニューから、[通常使うプリンタに設定]をクリックします。

原稿をプリントする

原稿をプリントする一般的な方法を説明します。

1 **用紙をカセットまたはマルチフィーダにセットします。**

用紙をセットする方法については、「用紙のセット」(→ P.2-3) を参照してください。

2 **アプリケーションで原稿を開きます。**

3 **プリントするコマンドを選択します。**

[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

4 **[プリンタの選択]リストボックスまたは[印刷]ダイアログボックスの[プリンタ名(名前)]プルダウンリストから、使用するプリンタを選択します。**

5 **[詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。**

メモ　アプリケーションによっては、使用するプリンタを [印刷] ダイアログボックスの [全般] タブで選択してから、対応するタブのプリント設定を指定します。(Windows 2000 のみ)

6 **必要に応じて設定します→ [OK] をクリックします。**

7 **[印刷] または [OK] をクリックします。**

プリントが始まります。

メモ　プリントを取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

プリントを取り消す

1 **[プリンタとFAX](Windows 98/Me/2000では[プリンタ])フォルダを開きます。**

● **Windows XP の場合：**

❑ [スタート] をクリックします→ [プリンタと FAX] を選択します。

● **Windows 98/Me/2000 の場合：**

❑ [スタート] をクリックします→ [設定] → [プリンタ] を選択します。

2 **Canon MF3110 のアイコンをダブルクリックします。**

3 **プリントジョブを右クリックします→ [キャンセル] をクリックします。**

メモ　本体の操作パネルの [システムモニタ] を使ってプリントジョブを中止することもできます。(→プリントジョブの確認と削除：P.7-2)

プリント機能の詳細については、ソフトウェアガイドの第 2 章「印刷」を参照してください。

5
CHAPTER

コピーするには

コピーのとりかた、よりよい画質が得られるスキャンの設定、拡大、縮小コピーのしかた、その他の便利な機能について説明します。

コピーできる原稿

コピーできる原稿の種類や設定については、第 3 章「原稿の取り扱い」を参照してください。

コピー操作の流れ

メモ

- A4 サイズよりも小さな用紙に続けてコピーした後で A4 サイズの用紙にコピーすると、コピーが汚れる場合があります。1 分程度待ってからコピーしてください。
- 小型サイズの用紙、厚紙＊などの用紙にコピーする場合は、コピー速度が通常よりも若干遅くなる場合があります。
  ＊紙種はメニューで選択します。（→用紙の種類を指定する：P.2-10）
- 1 枚の用紙に熱転写プリンタのプリントとコピーをとりたいときは、まずコピーからとってください。逆にするとコピーの汚れや紙づまりが発生することがあります。
- OHPフィルムにコピーするときは、排出されたOHPフィルムを1枚ずつ排紙トレイから取り除いてください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿台ガラスに原稿をセットする」（→ P.3-2）を参照してください。

2 [コピー] を押します。

3 テンキーを使って、コピー部数を入力します。

最大 99 部まで入力できます。

4 原稿に合わせて設定を行います。

・カセットまたはマルチフィーダにセットする用紙のサイズと種類を指定します。（→用紙のサイズと種類を指定する (カセットおよびマルチフィーダに共通)：P.2-9）
・[画質] を押して、読み取り解像度を選択します。（→画質 (解像度) を調節する：P.5-3）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→濃度を調節する：P.5-4）
・コピー倍率を調節する場合は、[拡大 / 縮小] を押します。（→コピー倍率の設定：P.5-2）

5 [スタート] を押します。

メモ　コピーを中止する場合は、[ストップ / リセット] を押し、ディスプレイの指示にしたがってください。
[システムモニタ] を使ってコピーを中止することもできます。（→コピージョブの確認と削除：P.7-1）

コピー倍率の設定

定形変倍またはズーム変倍を使ってコピーサイズを拡大 / 縮小できます。

定形変倍を使用して拡大 / 縮小する

1 [拡大 / 縮小] を押します。

2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、コピー倍率を選択し、[OK] を押します。

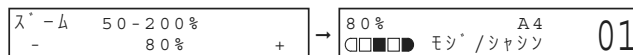
次の項目から選択できます。

・200%　MAX.
・141%　A5 → A4
・122%　A5 → B5
・115%　B5 → A4
・100%
・86%　A4 → B5
・81%　B5 → A5
・70%　A4 → A5
・50%　MIN.

メモ
- メニューの<ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>の<ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ>が<ｲﾝﾁ>または<A>に設定されている場合、定形変倍は次のようになります。
  ｲﾝﾁ:　50%、64%、78%、100%、129%、200%
  A:　50%、70%、100%、141%、200%
- 2in1 コピー機能では、定形変倍を使った拡大や縮小はできません。
- コピー倍率を100%に戻すには、<ﾄｳﾊﾞｲ 100%>が表示されるまで[拡大/縮小]を数回押し、[OK] を押します。
  ズーム変倍を使って倍率を 100%に戻すこともできます。（→ズーム変倍を使って拡大 / 縮小する：P.5-3）

ズーム変倍を使って拡大 / 縮小する

1 **[拡大 / 縮小] を 2 回押します。**

2 **テンキーを使ってコピー倍率を入力して、[OK] を押します。**

・コピー倍率は、50 ～ 200%の範囲で 1%単位で入力可能です。
・コピー倍率を入力し後でも、[◀ (-)] または [▶ (+)] を使ってコピー倍率を調節できます。コピー倍率を大きくする場合は [▶ (+)]、小さくする場合は [◀ (-)] を押してください。

メモ
- 2in1 コピー機能では、ズーム変倍を使った拡大や縮小はできません。
- コピー倍率を100%に戻すには、<ﾄｳﾊﾞｲ 100%>が表示されるまで[拡大/縮小]を数回押し、[OK] を押します。
  定形変倍を使って倍率を 100%に戻すこともできます。（→定形変倍を使用して拡大 / 縮小する：P.5-2）

コピーの画質を調節する

画質 (解像度) を調節する

文字原稿や写真のある原稿のそれぞれに最適な画質に調節することができます。画質を調節するモードには 3 種類あります。

1 **[画質] を押します。**

2 **[画質] を繰り返し押して好みの画質を表示させます。**

次の項目から選択できます。

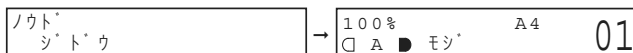
・<ﾓｼﾞ> ：文字原稿に適しています。
・<ｼｬｼﾝ> ：写真原稿に適しています。
・<ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ> ：文字と写真の両方を含む原稿に適しています。

メモ
<ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ>または<ｼｬｼﾝ>を設定すると、コピー濃度は自動的に手動モードに切り替わります。

濃度を調節する

原稿の濃淡に合わせて、自動または手動で濃度を調節できます。

■自動調節

1　[濃度] を 2 回押して、自動モードを選択し、[OK] を押します。

コピー濃度は自動的に調節されます。

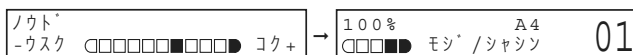
メモ　<ジドウ> を設定すると、画質モードは自動的に <モジ> に切り替わります。

■手動調節

1　[濃度] を押して手動モードを選択します。

2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してコピー濃度を調節し、[OK] を押します。

コピー濃度を薄くするときは、[◀ (-)] を押します。

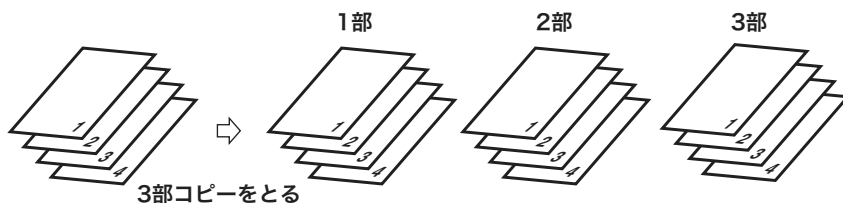
コピー濃度を濃くするときは、[▶ (+)] を押します。

メモ　濃度を薄く設定すると、目盛りは左に移動します。濃度を濃くすると、目盛りは右に移動します。

その他の機能

本製品には、次のような便利な機能があります。コピーした用紙をページ順に揃えたり、2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることができます。

- ソート
  コピーした用紙をページ順に揃えることができます。
- 2in1
  2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーします。
- コピー予約
  プリント中につぎのコピーを予約できます。

ソート

ソート機能を使うと、コピーした用紙をページ順に揃えることができます。複数ページの原稿を複数部コピーするときに便利です。

1 1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿を原稿台ガラスにセットする詳しい方法は、「原稿台ガラスに原稿をセットする」（→P.3-2）を参照してください。

2 [ソート /2in1] を押します。

ディスプレイに <ｿｰﾄ> と表示されます。

メモ メニューの<ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>の<ｼﾞﾄﾞｳ ｿｰﾄ>が<ｽﾙ>に設定されていると、自動的にソートにセットされます。（→メニューの設定内容 <5. ジドウ ソート >：P.10-3)

3 テンキーを使ってコピー部数を入力します。

最大 99 部まで入力できます。

4 [スタート] を押します。

読み取りが始まります。

5 原稿の次のページを原稿台ガラスにセットします。

```
ツギ゛ノ ヘ゜ージ゛        :スタート
ヨミトリ シュウリョウ        :セット
```

6 [スタート] を押します。

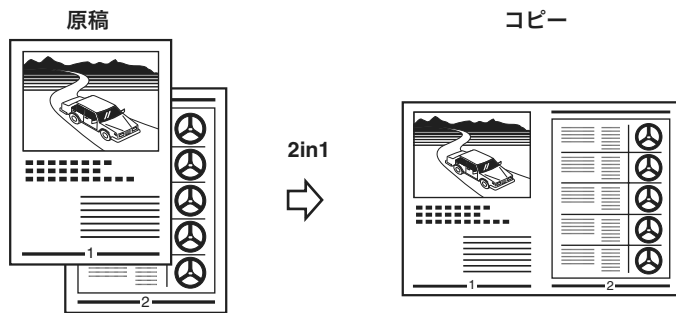
ステップ 5 と 6 を繰り返して、原稿をすべて読み取ります。

7 [OK] を押します。

プリントが始まります。

メモ 複数ページの原稿をスキャンしているとき、ディスプレイに <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> と表示され読み取りが中止される場合があります。この場合は原稿枚数を減らすか、画質モードを <ﾓｼﾞ> に切り替えてください。

2in1

2 枚の原稿を縮小して 1 枚の用紙にコピーします。

メモ
- この機能は拡大や縮小機能と一緒に使うことはできません。
- この機能は用紙サイズが <A4> または <LTR> に設定されているときにのみ使用できます。

1 1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿を原稿台ガラスにセットする詳しい方法は、「原稿台ガラスに原稿をセットする」（→ P.3-2）を参照してください。.

2 [ソート /2in1] を 2 回押します。

ディスプレイに <2in1> が表示されます。

3 テンキーを使ってコピー部数を入力します。

最大 99 部まで入力できます。

4 [スタート] を押します。

読み取りが始まります。

5 2 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

```
ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ          :ｽﾀｰﾄ
ﾖﾐﾄﾘ ｼｭｳﾘｮｳ          :ｾｯﾄ
```

6 [スタート] を押します。

ステップ 5 と 6 を繰り返して、原稿をすべて読み取ります。

原稿を 2 枚読み取るごとに、ステップ 3 で指定した原稿の部数がプリントされます。

7 [OK] を押します。

メモ　画像や写真が多い原稿を 2in1 でコピーするとき、画質モードを <ﾓｼﾞ> 以外にセットすると、ディスプレイに <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> と表示されコピーが中止されることがあります。この場合は画質モードを <ﾓｼﾞ> に切り替えてください。モードを切り替えても原稿によっては <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> と表示されコピーが中止される場合があります。

コピー予約

プリントをしている間に、次のコピーを予約することができます。

メモ　メモリには最大 10 件のコピージョブを保存できます。

1 プリント中に [ストップ / リセット] を 2 回押して待受表示に戻します。

メモ　次のコピージョブを予約する前には必ず、待受表示に戻してください。

2 原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿を原稿台ガラスにセットする詳しい方法は、「原稿台ガラスに原稿をセットする」(→ P.3-2) を参照してください。

3 テンキーを使ってコピー部数を入力します。

最大 99 部まで入力できます。

4 原稿に合わせて設定を調節します。

・[画質] を押して、読み取り解像度を選択します。（→画質 (解像度) を調節する：P.5-3）
・読み取り濃度を調節する場合は、[濃度] を押します。（→濃度を調節する：P.5-4）
・コピー倍率を調節する場合は、[拡大 / 縮小] を押します。（→コピー倍率の設定：P.5-2）

5 [スタート] を押します。

読み取りが始まります。

メモ

- 現在のプリントが完了すると、次のコピーが始まります。
- 読み取り中にメモリが一杯になると､ディスプレイに <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> と表示されます。このとき読み取った原稿はすべて消去されてしまうので､原稿を分割して各部分を別々にコピーするか、低い画質モードを選択してコピーをやり直してください。

スキャンする

6
CHAPTER

付属の CD-ROM のスキャナドライバを使って、原稿を読み取ってコンピュータに保存する方法を簡単に説明します。

スキャンする前に

スキャンする前に、コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。

- まだインストールされていないときは、セットアップシートか、ソフトウェアガイドの第１章「お使いになる前に」を参照してください。

スキャナドライバがコンピュータにインストールされているかどうかは、次の方法で確認できます。

1 [スキャナとカメラ] フォルダ (Windows 98/Me/2000 では [スキャナとカメラのプロパティ] ダイアログボックス) を開きます。

● **Windows XP の場合：**

❑ [スタート] をクリックし、[コントロールパネル]、[プリンタその他のハードウェア]、[スキャナとカメラ] を選択します。

● **Windows 98/Me/2000 の場合：**

❑ [スタート] をクリックし、[設定]、[コントロールパネル] を選択して、[スキャナとカメラ] をダブルクリックします。

2 対応するスキャナドライバの名前かアイコンがあることを確認します。

スキャン方法

原稿をコンピュータに読み取るには、2 つの方法があります。

- TWAIN- または WIA-(Windows XP) 対応 Windows アプリケーションを使う
- 本製品の操作パネルの [スキャン] を使う

ここでは本製品の操作パネルの [スキャン] を使う方法を説明します。[スキャン] → [スタート] を押すと、原稿をコンピュータに読み取ることができます。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿台ガラスに原稿をセットする」(→ P.3-2) を参照してください。

2 [スキャン]、次に [スタート] を押します。

起動するプログラムを選択する指示が表示されたときは、<MF Toolbox Ver4.7> を選択します。

スキャンが始まります。

MF Toolbox と MF Toolbox 設定ダイアログボックスが開きますが、[スタート] を押さなくても原稿のスキャンが始まります。

スキャン原稿は設定にしたがって処理されます。

[スタート] を押すと、自動的に [マイドキュメント] フォルダの [My Pictures] フォルダにスキャンした日のフォルダが作成され、原稿はこのフォルダに保存されます。[My Pictures] フォルダがないときは、スキャンした日のフォルダは [マイドキュメント] フォルダの中に作成され、原稿はこのフォルダに保存されます。

スキャン機能の詳細については、ソフトウェアガイドの第 3 章「スキャンする」を参照してください。

システムモニタ

メモリに保存されているジョブの状況を確認し、確認や削除する方法について説明します。

メモリに保存されているジョブの状況を確認する

メモリに保存されているコピーやプリントジョブの確認や削除をするには、[システムモニタ] を使います。

[システムモニタ] を押すと、ディスプレイは次の順でジョブ状況を表示します。

- コピー状況
- プリント状況

メモ　スキャンモードでは、[システムモニタ] は使用できません。

コピージョブの確認と削除

1　[システムモニタ] を押します。

2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <ｺﾋﾟｰｼﾞｮｳｷｮｳ> を選択し、[OK] を押します。

メモ
- ジョブがないときは、<ｺﾋﾟｰｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ> が表示されます。
- コピージョブが 1 つだけのときは、ステップ 4 に進みます。

3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してジョブ番号と、コピー部数を確認します。

4　コピージョブを削除したいときは、[OK] を押します。

5　ジョブを削除するときは、[◀ (-)] を押して <ﾊｲ> を選択します。

メモ　ジョブの削除を取り消すには、[▶ (+)] を押して <ｲｲｴ> を選択します。一度削除したジョブは元に戻せません。

プリントジョブの確認と削除

1 **[システムモニタ] を押します。**

2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ>を選択し、[OK] を押します。**

メモ
- ジョブがないときは、<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ> が表示されます。
- コピージョブが 1 つだけのときは、ステップ 4 に進みます。

3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してファイルネームを確認します。**

4 **コピージョブを削除したいときは、[OK] を押します。**

5 **ジョブを削除するときは、[◀ (-)] を押して <ﾊｲ> を選択します。**

メモ
- ジョブの削除を取り消すには、[▶ (+)] を押して <ｲｲｴ> を選択します。一度削除したジョブは元に戻すことができません。
- ディスプレイは文字を ASCII コードで表示できます。ASCII コード以外の文字を使用すると、ディスプレイに表示される文字が化けることがあります。

メンテナンス

日常のお手入れ、トナーカートリッジの交換、本製品を移動するときの方法を説明します。

日常のお手入れ

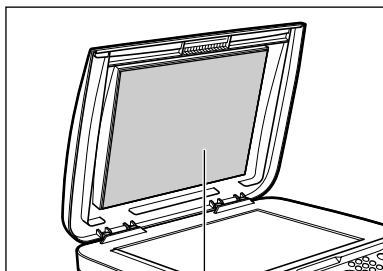
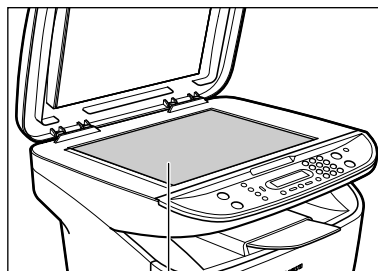
本製品には定期点検の必要はありません。ここでは本製品のお手入れの手順を説明します。

注意
- 本製品の外側や原稿台ガラスを清掃する前には、必ず電源コードを抜いてください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどを清掃に使用しないでください。製品に繊維が付着したり、静電気が発生することがあります。
  表面を傷つけないように柔らかい布をお使いください。
- 本製品内部の清掃には、シンナー、ベンジン、アセトンなどの揮発性溶剤その他の化学クリーナーを絶対に使用しないでください。

外側を清掃する

水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で本製品の表面を拭いてください。

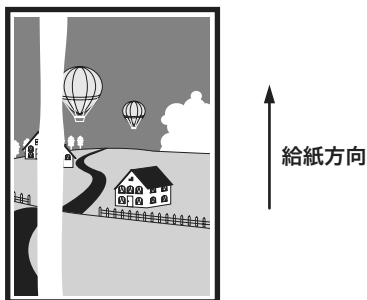
読み取りエリアを清掃する

読み取りエリア（淡色部分）は水を含ませてかたく絞った布で拭いてから、清潔な布でから拭きしてください。

原稿台ガラスカバー

原稿台ガラス

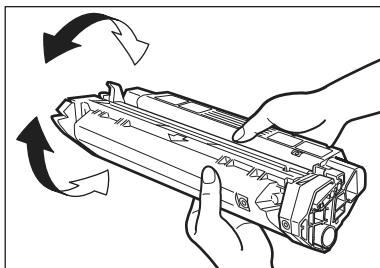
カートリッジの交換時期

カートリッジは消耗品のため、トナーがなくなったら交換してください。

プリントした用紙に白いスジや色の薄い帯が現れたときは、トナーが残り少なくなっています。

給紙方向

メモ 「カートリッジの取り扱いと保管」(→ P.8-3)であらかじめカートリッジの取り扱い方法をお確かめください。

1 **本体からカートリッジを取り出します。**

2 **カートリッジを 5、6 回振って、トナーを均一にならします。**

3 **カートリッジを本製品に取り付けます。**

4 **何枚かテストコピーを取ります。**

● **コピーが正常に行われているときは**

カートリッジをそのままお使いいただけます。ただしすぐに新しいカートリッジを用意してください。

8 メンテナンス

● **まだ白いスジや色の薄い帯が現れるときは**

❑ 新しいカートリッジと交換してください。

カートリッジの交換方法は「カートリッジを交換する」(→ P.8-5) を参照してください。

プリント枚数

1 本のカートリッジでプリントできるおよその枚数について説明します。

■およそのプリント枚数

Cartridge U : 約 2,500 枚 (A4 で印字率 4%*)。

*「A4で印字率4%」とは、A4サイズの用紙全体に対してトナーでカバーされる面積が4%であることをいいます。

- 実際にプリントできる枚数は濃度設定、室温、湿度などによって変わります。
- 色の濃いプリントや写真を多数含む原稿を大量にプリントすると、上に示した枚数より早くトナーが消費されます。
原稿台ガラスカバーを開いたままプリントすると、トナー消費量が増えます。
- サイズの小さな原稿や印字率が少ない原稿をプリントするときは、上に示した枚数よりも多くの枚数プリントできる場合があります。ただし、同じカートリッジを長い期間使用し続けると、プリントされた用紙に色の濃い帯が現れることがあります。

カートリッジの取り扱いと保管

最適なコピー品質を得るための注意事項について説明します。

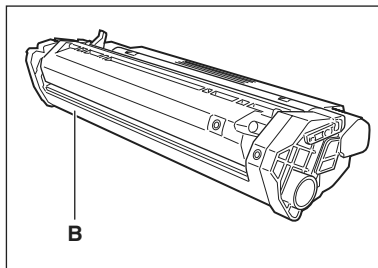
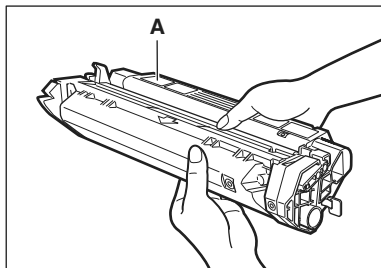
■取り扱い上の注意事項

警告

- トナーが発火してやけどや火災の原因になることがあるので、カートリッジを火の中に投げ入れないでください。
- カートリッジはわずかに磁気を発生します。心臓ペースメーカーをお使いの方や体に不調を感じた方はカートリッジから離れて医師にご相談ください。

重要 絶対にカートリッジを分解したり遮光シャッターを開いたりしないでください。

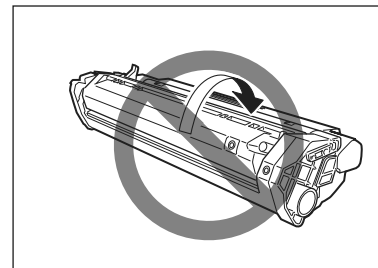
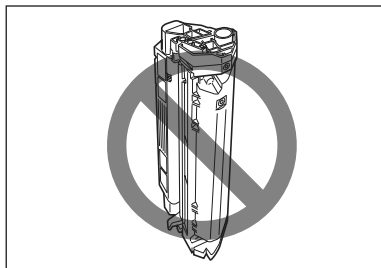
メモ

- 温度の低い屋外から暖かい部屋に本製品を移動した場合や、部屋を急激に暖房すると、内部に結露が生ずる場合があります。
  この状態でお使いになるとコピーが完全に黒くなるなどプリント品質が低下するおそれがあります。
  このような場合には、本製品を 2 時間以上放置して室温に慣らしてからお使いください。
- カートリッジを取り扱う際には、トナーが手や衣類につかないようにご注意ください。汚れがついたときはただちに冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着して、汚れが落ちなくなります。
- カートリッジは図のようにラベル (A) が上になるようにして持ってください。遮光シャッター (B) を無理に動かしたり押したりしないでください。

■保管上の注意事項

警告 カートリッジやコピー用紙は火のそばに保管しないでください。トナーやコピー用紙に引火してやけどや火災の原因になることがあります。

注意 カートリッジその他の消耗品は子供の手の届かない場所に置いてください。トナーなどを吸い込んだときは、ただちに医師の診察を受けてください。

重要

- カートリッジはラベル面を上にして保護袋に入れてください。袋に入れたカートリッジは梱包箱に入れてください。未使用のカートリッジを直射日光に当てないでください。
- 一部使用済み / 開封済みのカートリッジは、ラベル面を上にして保護袋に入れてください。袋に入れたカートリッジは梱包箱に入れて、直射日光が当たらないよう保管してください。
- カートリッジは暖房器具や加湿器の前に保管しないでください。温度が 40 ℃を超えない場所に保管してください。
- 推奨保管温度は次の通りです。
  - ・温度　　　：0 ℃〜 35 ℃
  - ・相対湿度 ：35%〜 85%
- 本体を廃棄する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- カートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。

■一部使用済みカートリッジを保管する

本体からカートリッジを取り外したときは、次の説明にしたがってカートリッジを保管してください。カートリッジはラベル面を上にして保護袋に入れてください。袋に入れたカートリッジは梱包箱に入れてください。梱包箱のふたはしっかりと閉じてください。

カートリッジの保護袋や梱包箱がないときは、カートリッジを暗所に保管してください。

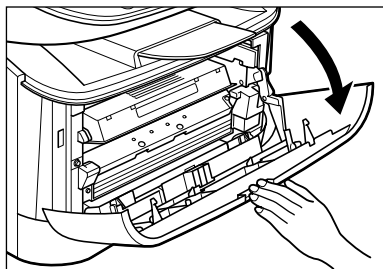
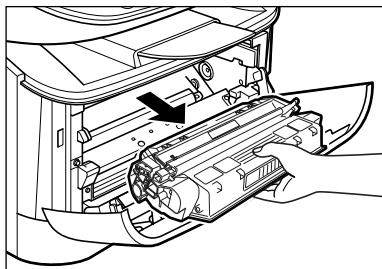
■使用済みカートリッジをリサイクルする

地球の天然資源を有効利用するとともに環境を保護するため、使用済みカートリッジは購入店に返却してリサイクルすることを奨励しています。

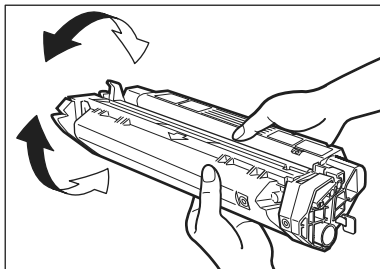
カートリッジを交換する

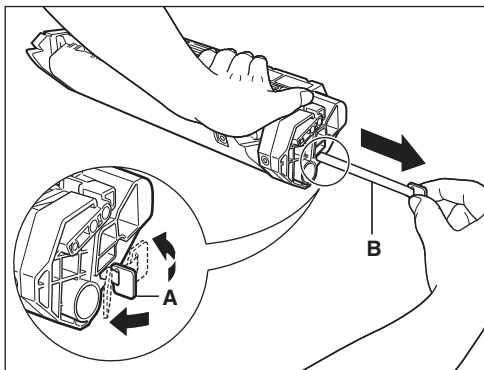
使用済みカートリッジを取り外して新しいものと交換する方法を説明します。カートリッジを交換する前に、かならず「カートリッジの交換時期」（→ P.8-2）をお読みください。

メモ　「カートリッジの取り扱いと保管」（→ P.8-3）であらかじめカートリッジの取り扱い方法をお確かめください。

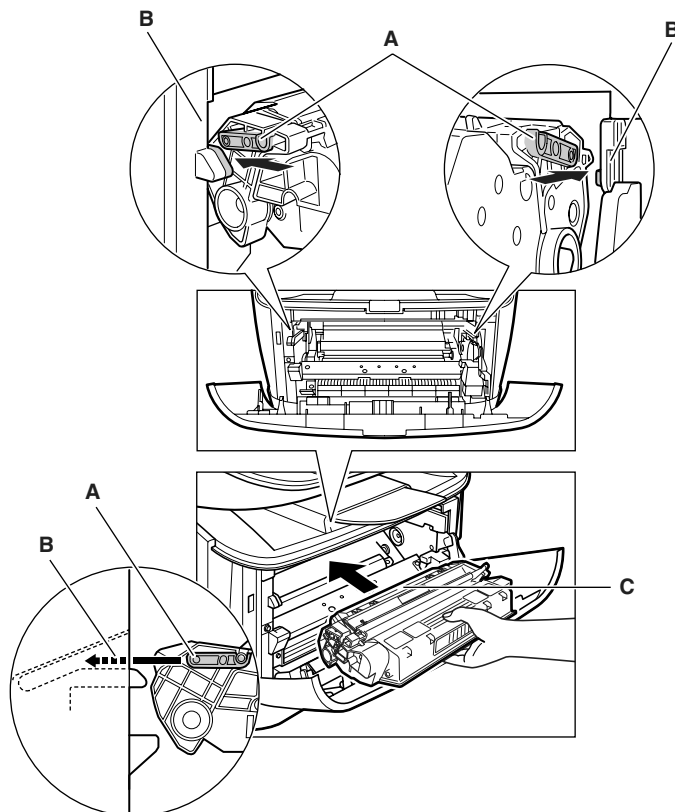
1　前面カバーを開きます。

2　本体からカートリッジを取り外します。

3　カートリッジを保護袋から取り出します。

メモ　保護袋は保存しておいてください。後で本製品からカートリッジを取り外す際に必要となります。

4 カートリッジを数回振って、トナーを均一にならします。

5 カートリッジを平らで安定した場所に置きます。下図のようにシールテープ (B) のタブ (A) を折って、カートリッジを押さえながらまっすぐに引きます。

タブ本体をカートリッジから外してから引っぱってください。

重要 テープが切れるのを防ぐために、テープは上や下に引かないでください。

6 カートリッジ両側の突起 (A) を本体内部のガイド (B) に合わせてから、カートリッジをゆっくりと本体に押し込みます。

カートリッジの矢印 (C) を本体の内側に向けて押し込んでください。

7 前面カバーを閉じます。

メモ　ディスプレイに<ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ>と表示されたときは、前面カバーをいったん開いてから閉じて本製品をリセットしてください。

本製品を移動するとき

本製品を移動する前に、かならず電源コードを外してください。本製品が振動を受けそうなときは（長距離を移送する場合など）、下記の注意事項にしたがってください。本製品が損傷したり、プリント品質が低下するおそれがあります。

1 **電源コードを外します。**

2 **本製品をコンピュータに接続している場合は、プリンタケーブルを外します。**

3 **前面カバーを開きます。**

4 **カートリッジの端を持って、本体から取り外します。直射日光を防ぐために、カートリッジは購入時に収められていた保護袋に入れてください。**

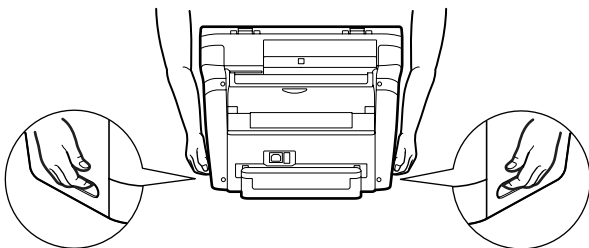
5 **前面カバーを閉じます。**

6 **カセットを完全に引き出して、延長カバーを本体から外します。**

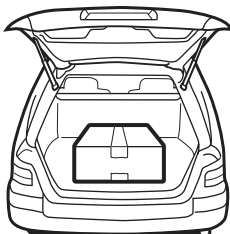
7 **カセットから延長カセットを外します。**

8 **カセットを本体に戻します。**

9 **排紙トレイを外します。**

本体を運搬する

カセットを完全に引き出して、延長カバーを本体から外します。
排紙トレイを外します。
図のように本体両側の指かけをつかみ、注意して持ち上げます。

注意 本体を運搬する際には、かならず図の位置を持ってください。本体を落としてけがをするおそれがあります。

本製品を自動車で移送する

購入時の梱包材と箱を使って本体を梱包します。
本体を水平で安定した場所に置きます。

重要
- 本製品を車内に長時間放置しないでください。車内は非常に高温または低温になる場合があります。
- 起伏の多い道路は避けてください。ひどい振動を受けると、本製品が損傷したり、プリント品質が低下するおそれがあります。
- 本製品にカバーをかけてください。直射日光が当たった状態で本製品を放置しないでください。
- 本製品を移送する際には、購入時に梱包されていた梱包箱をお使いください。

保守について

本製品は、所定の保守契約に基づいて修理・調整を行います。

詳細はお求めになった販売店にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後7年間です。

■ 用紙について

快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。使用可能な用紙については「使用可能な用紙」（→ P.2-1）を参照してください。

（* 各オプションで使用できる用紙の厚さに制限がありますので、注意してください。）

重要 次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりの原因になります。
・大きくカールした用紙やしわのある用紙
・薄いわら半紙
・熱転写プリンタで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください。）
・インクジェット専用の官製はがき

メモ 市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品に合わないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ その他

本商品ならびに関連する消耗品・サービス役務などは、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。

9
CHAPTER

困ったときには

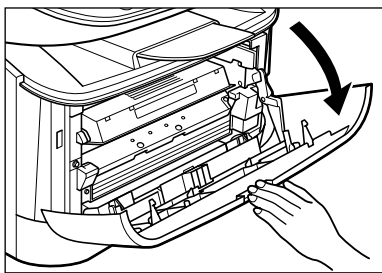
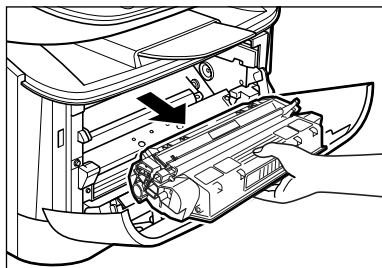
本製品が正常に動作しない場合やその対処のしかたについて説明します。問題が解決できない場合の対処のしかたについても説明します。

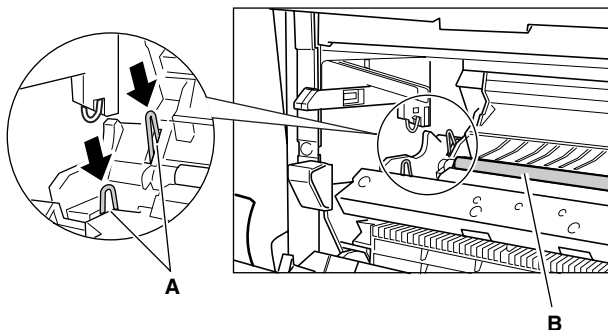
用紙がつまったときには

つまった用紙を取り除く方法を説明します。本体内部で用紙がつまると、ディスプレイに<ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ>と表示されます。

⚠注意 本体内部とカートリッジには、高圧や高温になる部分があります。内部を点検する際には、やけどや感電をしないように十分に注意してください。

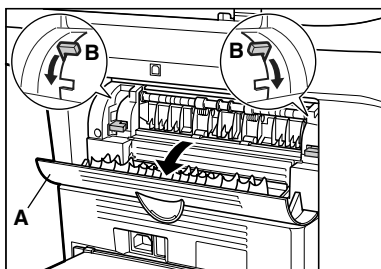
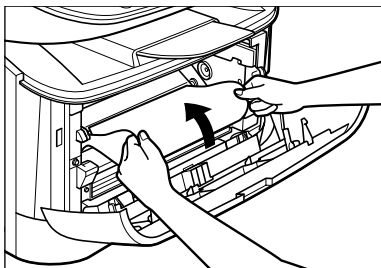
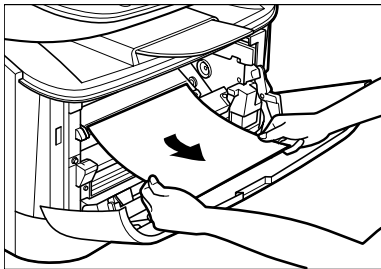
メモ 本体内部からつまった用紙を取り除く際は、つまった用紙のトナーが手や衣類につかないようにご注意ください。汚れがついたときはただちに冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着して、汚れが落ちなくなります。

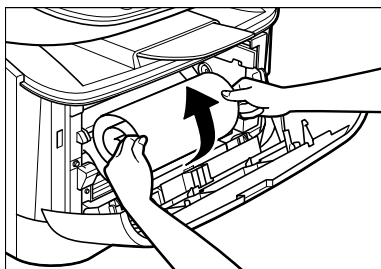
1 前面カバーを開きます。

2 カートリッジを取り外します。

重要

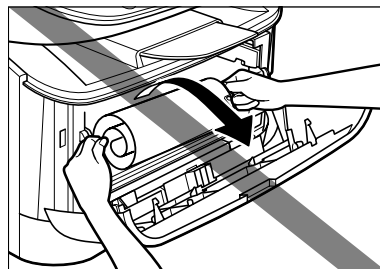
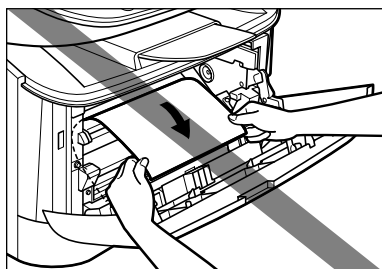
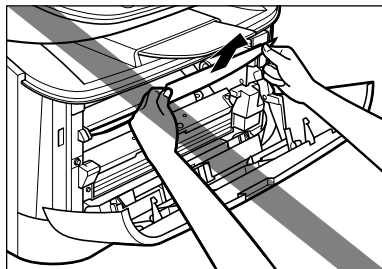
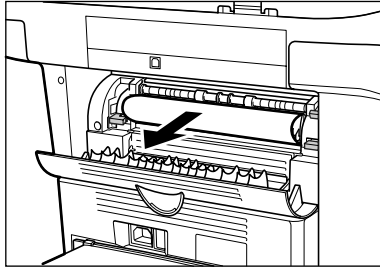
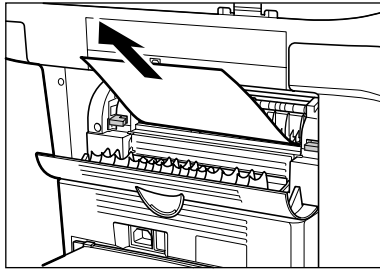
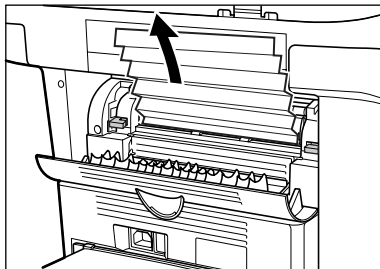
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- 本製品が損傷するおそれがあるので､搬送ローラ(B)の左端にあるピン(A)に触れないでください。

- つまった用紙を取り除くときに、搬送ローラに触らないでください。指の油分やひっかき傷がつくと、プリント品質が低下する原因になります。

メモ

カートリッジに5分以上光が当たらないようにしてください。光にさらさないように、必要に応じて購入時の保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。

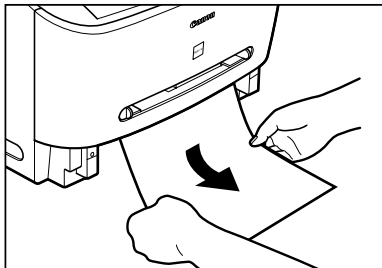
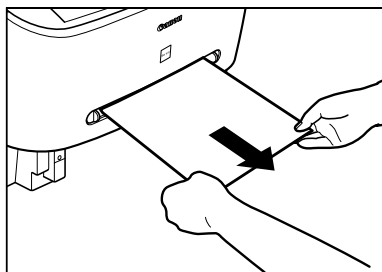
3 フェイスアップカバー(A) を開いて、フェイスアップ排紙エリアの両側にある緑色の用紙解除レバー(B)を押し下げます。

4 つまった用紙の両端を持って、ゆっくり内側に引っ張り、静かに引き出します。

5 つまった用紙を静かに本体から引き出します。

● 用紙の先端が見えていて定着エリアに引き込まれていない場合

❑ 用紙を手前に引っ張って内巻にします。

重要

- つまった用紙をカセットから手前に引っ張らないでください。故障の原因になる場合があります。

- つまった用紙を上に引っ張らないでください。用紙についたトナーがプリンタに付着して、プリント品質が低下する原因になります。

6 **排紙ローラの間にあるつまった用紙を、先端が見えるまで静かに引っ張ります。**

7 **用紙をローラからまっすぐ引き抜きます。**

つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。

8 **前面カバーを閉じます。**

9 **カセットを完全に引き出します。**

10 つまった用紙の両側を持って、矢印の向きにゆっくりと引き抜きます。

● カセットを使って用紙がつまった場合

● マルチフィーダを使って用紙がつまった場合

11 用紙解除レバーを元の位置に戻して、フェイスアップカバーを閉じます。

重要
- かならず用紙解除レバーを元の位置に戻してください。レバーを下げたままでは動作しません。
- プリント中は絶対に用紙解除レバーを下げないでください。固定部品が損傷するおそれがあります。

12 カートリッジを元通り入れてから、前面カバーを閉じます。

詳細は「カートリッジを交換する」（→ P.8-5）を参照してください。

重要
カートリッジを交換して前面カバーを閉じると動作可能になります。動作可能な状態に戻らない場合は、用紙解除レバーが元の位置に戻っているか、つまった用紙が残っていないかを確認してください。

13 カセットを本体に入れます。

ディスプレイの表示

ジョブの実行中やエラーが発生すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

原　因　フロントカバーを閉じたばかりでコピーができる状態になっていない。

処　置　しばらくお待ちください。フロントカバーを閉じた直後は復帰処理が行われているため読み取りができません。

ﾖｳｼﾉ ｻｲｽﾞｦ ﾁｪｯｸ

原　因　カセットまたはマルチフィーダにある用紙のサイズがメニューの<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>で指定した用紙と違う。

処　置　正しいサイズの用紙をセットするか、メニューの<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>の<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ>を変更します。(→用紙のセット：P.2-3、用紙サイズを指定する：P.2-9)
前面カバーを開閉して本製品をリセットします。

ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原　因　本体にエラーが発生している。

処　置　前面カバーを開閉して本製品をリセットします。メッセージが消えないときは、本製品の電源を切って、お近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡してください。

ｶﾊﾞｰｶﾞ ｼﾏｯﾃ ｲﾏｾﾝ

原　因　前面カバーが完全に閉じていない。

処　置　前面カバーが完全に閉じているか調べてください。

ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原　因　カートリッジが装着されていないか、正しく装着されていない。

処　置　カートリッジを正しく装着してください。(→カートリッジを交換する：P.8-5)

ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

原因 1　大量の原稿をセットしている状態でソートや 2in1 コピー機能を設定したために、本体のメモリがいっぱいになった。

処　置　原稿を分割して、各部分を別々にコピーしてください。

原因 2　11 以上のコピージョブを予約しようとした。

処　置　本製品がメモリに保存できるコピージョブは最大で 10 までです。現在のコピージョブが完了するまで待つか、[システムモニタ] を使って予約したコピージョブを削除してください。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ

原　因　実行中のジョブを取り消したため、スプールジョブリスト中の次のジョブも削除された可能性があります。

処　置　現在実行しているジョブの次のジョブがスプールジョブリストから削除されているか確認してください。USB ケーブルをいったん外してから接続しなおすか、本製品をいったん外してから接続しなおしてエラーメッセージをクリアしてください。

ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ

原　因　紙がつまっている。

処　置　つまった紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.9-1）、カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットし直してください。つぎに前面カバーを開閉して本製品をリセットしてください。

ﾃｻﾞｼﾉﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ

原　因　原稿の読み取り中にマルチフィーダに用紙をセットした。

処　置　マルチフィーダから用紙を取り除いてください。用紙が取り除かれると本機が自動的にコピーを開始します。マルチフィーダを使ってコピーをとるときは、用紙をマルチフィーダにセットしてから [スタート] を押してください。

ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

原　因　カセットやマルチフィーダに用紙がセットされていない。

処　置　カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットしてください（→用紙のセット：P.2-3）。カセットの用紙がカセットの収容枚数を超えないようにしてください。
用紙をマルチフィーダに１枚ずつセットしてください。
コピー中に用紙をセットする場合は、サイズの異なる用紙をセットしないでください。
ディスプレイの２行目に<ｶｾｯﾄ>または<ﾄﾚｲ>というメッセージが表示され、用紙サイズが表示される場合があります。この場合には、カセットまたはマルチフィーダに該当するサイズの用紙をセットしてください。

給紙のトラブル

用紙がうまく給紙されない

原因１　カセットやマルチフィーダの用紙は、適切な枚数ですか？

処　置　カセットまたはマルチフィーダの用紙が、セットできる枚数をオーバーしないようにしてください。（→用紙のセット：P.2-3）

原因２　用紙は正しくセットされていますか？

処　置　カセットの用紙やマルチフィーダの用紙が正しくセットされていることと、ペーパーガイドが正しく調節されていることを確かめてください。（→用紙のセット：P.2-3）

原因３　カセットが本体に正しく差し込まれていますか？

処　置　カセットは正面からまっすぐに入れ、奥までしっかり差し込んでください。カセットが傾いていたり、斜めに差し込まれていないか確認してください。

用紙が斜めに送られる (プリントが曲がっている)

原　因　用紙は正しくセットされていますか？

処置１　カセットの用紙やマルチフィーダの用紙が正しくセットされていることと、ペーパーガイドが正しく調節されていることを確かめてください。（→用紙のセット：P.2-3）

処置２　排紙口がふさがれていないか確認してください。

用紙が重なって送られる

原因１　用紙は正しくセットされていますか？

処　置　カセットの用紙やマルチフィーダの用紙が正しくセットされていることと、ペーパーガイドが正しく調節されていることを確かめてください。（→用紙のセット：P.2-3）

原因２　カセットにセットする前に、用紙をさばきましたか？

処　置　用紙をさばいてからカセットにセットしてください。さばくことで用紙が重なるのを防ぎます。

原因３　カセットやマルチフィーダにセットされている用紙は、適切な枚数ですか？

処置１　カセットまたはマルチフィーダの用紙が、セットできる枚数をオーバーしないようにしてください。（→用紙のセット：P.2-3）

処置２　カセットやマルチフィーダに用紙を無理に入れないでください。

処置３　マルチフィーダには用紙を１枚ずつセットしてください。

原因４　カセットやマルチフィーダにセットされた用紙は、１種類だけですか？

処置１　１種類の用紙だけをセットしてください。

処置２　本製品に適した用紙をセットしてください。(→第２章「用紙の取り扱い」)

OHP フィルムがうまく送られない

原因１　OHP フィルムは正しくセットされていますか？

処　置　カセットやマルチフィーダの OHP フィルムが正しくセットされていることと、ペーパーガイドが正しく調節されていることを確かめてください。(→用紙のセット：P.2-3)

原因２　適切な OHP フィルムがマルチフィーダにセットされていますか？

処　置　カラーコピー機用の OHP フィルムは使わないでください。紙づまりの原因になります。キヤノン推奨の OHP フィルムをお使いください。

給紙される用紙がカールする

原　因　適切な用紙がセットされていますか？

処　置　カセットやマルチフィーダに適切な用紙がセットされているか確認してください。(→第２章「用紙の取り扱い」)

用紙がバラバラに排出される

原　因　適切な用紙がセットされていますか？

処置１　カセットやマルチフィーダに適切な用紙がセットされているか確認してください。(→第２章「用紙の取り扱い」)

処置２　メニューの <ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ> の <ｶﾐｼｭ> で適切な用紙の種類が選択されているかどうか確認してください。（→用紙の種類を指定する：P.2-10）

紙づまりが繰り返し起こる

原因１　適切な用紙がセットされていますか？

処　置　お使いの用紙のサイズ、厚さ、種類を確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-1）

原因２　適切な用紙が正しくセットされていますか？

処　置　用紙をさばいてからカセットにセットしてください。さばくことで用紙が重なるのを防ぎます。

原因３　排紙トレイに障害物がありませんか？

処置１　排出された用紙を排紙トレイに戻さないでください。(→フェイスダウン排紙エリア：P.2-12)

処置２　用紙以外のものを排紙トレイに置かないでください。(→フェイスダウン排紙エリア：P.2-12)

原因４　本製品は適切な場所に設置されていますか？

処　置　本製品が適切な場所に設置されているか確認してください。(本製品の仕様については、「仕様」（→ P.11-1）を参照してください。安全上の警告や注意については、「安全にお使いいただくために」（→ P.vii）を参照してください)。

封筒がうまく送られない

原因１　封筒は正しくセットされていますか？

処　置　封筒が正しくセットされているかどうか確認してください(→封筒をマルチフィーダにセットする:P.2-8)。マルチフィーダには１枚ずつ封筒をセットしてください。

原因２　適切な封筒がセットされていますか？

処　置　推奨封筒（ISO-C5、洋形４号、洋形２号）をマルチフィーダにセットしてください。（→封筒をマルチフィーダにセットする：P.2-8）

コピーのトラブル

コピーできない

原因 1　カートリッジは正しく装着されていますか？

処　置　カートリッジが正しく装着されているか確認してください。(→セットアップシート)

原因 2　カートリッジのシールテープをはがしてありますか？

処　置　カートリッジのシールテープをはがしてください。(→セットアップシート)

原因 3　カセットは本体に正しく差し込まれていますか？

処　置　カセットは正面からまっすぐに入れ、奥までしっかり差し込んでください。(→セットアップシート)

原因 4　電源コードを本体に接続したばかりですか？

処　置　少しお待ちください。電源コードの接続直後は原稿を読み取れません。

原因 5　節電モードは解除されていますか？

処　置　節電モードでは、原稿を読み取りません。節電モードを解除するには、[節電] を押してください。

プリント品質のトラブル

プリント品質がよくない。プリントが不鮮明、ドットが欠けている、白いスジが入る

原因 1　お使いの用紙のサイズ、厚さ、種類は本製品の仕様の範囲内ですか？

処　置　お使いの用紙が本製品に仕様に対応しているかどうか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-1）

原因 2　カートリッジは正しく装着されていますか？

処　置　カートリッジが正しく装着されているか確認してください。(→セットアップシート)

原因 3　カートリッジにトナーが残っていますか？

処　置　「カートリッジの交換時期」(→ P.8-2）を参照して、必要に応じてカートリッジを交換してください。(→カートリッジを交換する：P.8-5）

原因４　濃度は正しく調節されていますか？

処　置　[濃度] で正しく調節してください。（→濃度を調節する：P.5-4）

コピーが汚い

原因１　原稿台ガラスや原稿台ガラスカバーが汚れていませんか？

処　置　原稿台ガラスや原稿台ガラスカバーを清掃してください。（→読み取りエリアを清掃する：P.8-1）

原因２　カートリッジが損傷していませんか？

処　置　カートリッジに傷がある場合は、新しいカートリッジと交換してください。（→カートリッジを交換する：P.8-5）

原因３　本製品は室温に慣らしてありますか？内部で結露が発生している場合があります。

処　置　本製品を使用する前に、２時間以上室温に慣らしてください。

原因４　本製品は安定した場所に設置されていますか？

処　置　本製品を適切な場所に設置してください。（→安全にお使いいただくために：P.vii）

コピーが濃すぎる、または薄すぎる

原因１　濃度は正しく調節されていますか？

処　置　[濃度] で正しく調節してください。（→濃度を調節する：P.5-4）

原因２　トナーセーブモードになっていませんか？

処　置　メニューの <ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ> で <ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ > を <ｼﾅｲ> に設定してください。(→メニューの設定内容 <2. トナーセーブモード >：P.10-2)

厚手の用紙にコピーすると、一部が欠けたりぼやけた状態でプリントされる

原　因　紙種は正しく設定されていますか？

処　置　メニューの <ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ> の <ｶﾐｼｭ> で <ｱﾂｶﾞ ﾐ> または <ｱﾂｶﾞ ﾐH> を選択してください。（→用紙の種類を指定する：P.2-10）

目の粗い用紙にコピーすると、プリントが欠ける

原　因　紙種は正しく設定されていますか？

処　置　メニューの<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>の<ｶﾐｼｭ>で<OHP ﾌｨﾙﾑ>を選択してください。(→用紙の種類を指定する：P.2-10)

2in1 コピー機能を使ってコピーすると、プリントが欠ける

原　因　原稿が A4 または LTR サイズですか？

処　置　2in1 コピー機能を使ってコピーする際には、かならず A4 サイズまたは LTR サイズの原稿をお使いください。

コピーすると用紙の縁が汚い

原　因　用紙サイズは正しく設定されていますか？

処　置　メニューの<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>の<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ>で適切な用紙サイズを指定してください。(→用紙サイズを指定する：P.2-9)

プリントのトラブル

エラーランプが点灯する

原　因　用紙はうまく送られますか？カセットまたはマルチフィーダに用紙はありますか？

処置 1　紙づまりを解消するか、カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットしてください。(紙づまりの解消方法は「用紙がつまったときには」(→ P.9-1) を参照してください。用紙をセットする方法は「用紙のセット」(→ P.2-3) を参照してください)。

処置 2　紙がつまっていないか、カセットまたはマルチフィーダに用紙が入っているときは、本製品の電源コードを外して 3 〜 5 分待ってから電源コードをもう一度接続してください。問題が解消されていれば、エラーランプが消えてディスプレイはスタンバイモードに戻ります。エラーランプが点滅し続ける場合は、電源コードを外してお近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡してください。

プリントした用紙が用紙サイズに合わない

原　因　用紙がカセットに正しく揃えてセットされていますか？また用紙はマルチフィーダに正しくセットされていますか？

処　置　用紙がカセットに正しく揃えてセットされているか、マルチフィーダに正しくセットされていることを確認してください。（→用紙のセット：P.2-3）

読み取りのトラブル

原稿を読み取らない

原因１　電源コードを本体に接続したばかりですか？

処　置　少しお待ちください。電源コードの接続直後は原稿を読み取れません。

原因２　USB ケーブルはしっかりと接続されていますか？

処　置　USBケーブルが本製品とコンピュータにしっかりと接続されていることを確認してください。USB ケーブルを外して少し待ってから接続してください。

読み取った画像が汚い

原　因　原稿台ガラスや原稿台ガラスカバーが汚れていませんか？

処　置　原稿台ガラスや原稿台ガラスカバーを清掃してください。（→読み取りエリアを清掃する：P.8-1）

画像の左側に白いスジが現れる

原　因　原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていますか？

処　置　原稿は原稿台ガラスの端から約 3mm 離してセットしてください。

一般的なトラブル

本体の電源が入らない

原　因　電源コードはしっかりと接続されていますか？

処　置　電源コードが本製品とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。電源コードは本体後面のソケットにまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込まないでください。本製品が電源に正しく接続されず電源が入らない場合があります。この場合はいったん電源コードを外して、少し待ってから正しく接続しなおしてください。(→セットアップシート)

ディスプレイに何も表示されない

原因 1　電源コードはしっかりと接続されていますか？

処　置　電源コードが本製品とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。電源コードは本体後面のソケットにまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込まないでください。本製品が電源に正しく接続されず電源が入らない場合があります。この場合はいったん電源コードを外して、少し待ってから正しく接続しなおしてください。(セットアップシート参照) それでもディスプレイに何も表示されない場合は、本製品の電源コードを抜いて 3 ～ 5 分内部の温度が下がるまで待ってからもう一度接続してください。ディスプレイの状態が変わらないときは、電源コードを外してお近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡してください。

原因 2　節電ボタンは消灯していますか？

処　置　節電ボタンが点灯しているときは、節電モードが働いています。節電モードを解除するには、[節電] を押してください。

トラブルが解決しない場合

本製品にトラブルが発生し、この章の処置を行っても解決しない場合は、お近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡してください。

注意 本製品から変な音が聞こえたり、煙が出たり変な臭いがする場合は、すぐに電源コードをコンセントから外して、お近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡してください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

重要 ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

お近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当に連絡する前に、次の情報をご確認ください。

- 製品名
  MF3110
- 製造番号
  製造番号は本体裏面ラベルに記載しています。

- ソフトウェアのバージョン番号
- ご購入店
- トラブルの内容
- トラブルを解決するためにとった措置とその結果

本体の設定

本体の設定を行う方法を説明します。設定項目のリストを参考のため示してあります。

設定メニューを使う

1. **[メニュー] を押します。**

2. **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、変更したいメニューを選択し、[OK] を押します。**

   設定項目が表示されます。

3. **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、変更したい設定項目を選択し、[OK] を押します。**

メモ

- 各メニュー項目については、次の「メニューの設定内容」を参照してください。
- [OK] を押す前に [ストップ / リセット] を押すと、選択した項目は登録されません。
- メニューを終了する、[ストップ / リセット] を押します。
- [メニュー] を押すと、前の画面に戻ります。
- メニューで設定を変更すると、前の設定には自動的には戻りません。前の設定に戻したいときは、もう一度設定を変更してください。

メニューの設定内容

1. 用紙設定

設定項目	設定内容
1. カセット	
1. ヨウシ サイズ	カセットにセットした用紙のサイズを選択します。セットできる用紙サイズは、**A4**、B5、A5、エグゼクティブ、レターです。
2. カミシュ *	カセットで使用する用紙の種類を選択します。 セットできる用紙の種類は、**普通紙**、普通紙 L、厚紙、厚紙 H、OHP フィルムです。
2. テザシトレイ	
1. ヨウシ サイズ	マルチフィーダにセットする用紙のサイズを選択します。 セットできる用紙は、**A4**、B5、A5、ISO-C5、洋形 4 号、洋形 2 号、はがき、往復はがき、レター、リーガルです。
2. カミシュ *	マルチフィーダで使用する用紙の種類を選択します。 セットできる用紙の種類は、**普通紙**、普通紙 L、厚紙、厚紙 H、OHP フィルムです。

2. 共通機能設定

設定項目	設定内容
1. ショキ モード	電源コードの接続時やオートクリアされたときに、ディスプレイに表示されるモードを選択します。
コピー	コピーモードが選択されます。
スキャン	スキャンモードが選択されます。
2. トナーセーブモード	トナーセーブモードを設定します。
シナイ	トナーセーブモードをオフにします。
スル	トナーセーブモードをオンにします。

（**太字**は工場出荷時の設定）

* 使用できる用紙の種類の詳細は、P.2-1 を参照してください。

3. コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1. ヒョウジュン ガシツ	原稿の種類を選択します。 モジ：文字原稿に適しています。 **モジ / シャシン** *1：文字 / 写真原稿に適しています。 シャシン *1：写真原稿に適しています。
2. ヒョウジュン ノウド	自動または手動の濃度設定モードを選択します。
シュドウ	濃度を手動で調節します。 濃度は 9 段階で調節できます。（**中央**）
ジドウ *2	濃度が自動調節されます。
3. ヒョウジュン バイリツ	拡大 / 縮小率を選択します。
シュドウ	50% ～ 200% の範囲で拡大 / 縮小率を選択します。(**100%**)
テイケイ ヘンバイ	定形変倍を選択します。用紙サイズグループを変更すると、定形変倍も変わります。
4. ヒョウジュン ブスウ	コピー枚数を選択します。 1 ～ 99 (**1**)
5. ジドウ ソート	自動ソートを設定します。
スル	自動ソート機能をオンにします。
シナイ	自動ソート機能をオフにします。
6. サイズ ケイレツ	用紙サイズグループを選択します。用紙サイズグループが変わると、定形変倍が変更されます。
AB	定形変倍 :50%、70%、81%、86%、100%、115%、122%、141%、200%
インチ	定形変倍 :50%、64%、78%、100%、129%、200%
A	定形変倍 :50%、70%、100%、141%、200%
7. シャープネス	画像のシャープネスを設定できます。文字や線を鮮明にしたい場合は、大きな数値を選択します。写真をコピーする場合は、小さな数値を選択します。 1 ～ 9 (**5**)

（**太字**は工場出荷時の設定）

*1 モジ / シャシンやシャシンが選択されると、ヒョウジュンノウドが自動的にマニュアルに変更されます。

*2 ジドウの選択時は、ヒョウジュンガシツがモジに自動的に変更されます。

4. プリンタ仕様設定

設定項目	設定内容
1. エラータイムアウト	パソコンからデータを受け取れない場合に本製品がエラーを返すまでの時間を設定します。
スル	エラータイムアウトをオンにします。タイムアウト時間を設定します。 5 〜 300 ビョウ（**15 ビョウ**）
シナイ	エラータイムアウトをオフにします。

5. タイマー設定

設定項目	設定内容
1. オートクリア	オートクリア機能を設定します。本製品を一定時間操作しなかった場合に、ディスプレイの表示がスタンバイモードに戻ります。
スル	オートクリア機能をオンにします。 1 〜 9 フン（**1 フン**）
シナイ	オートクリア機能をオフにします。
2. オート セツデン	節電モードを設定します。
スル	節電モードをオンにします。節電モードに移行するまでの時間を設定できます。 3 〜 30 フン（**5 フン**）
シナイ	節電モードをオフにします。

（**太字**は工場出荷時の設定）

付録

本製品の仕様や索引を示します。

仕様

形式	パーソナルデスクトップ
原稿台	固定
光導電性材料	有機感光導電性材料
コピー方式	間接静電気転写システム
現像方式	トナー転写システム
定着方式	キヤノン RAPID Fusing System™
解像度	約 600 dpi × 600 dpi
階調数	256 階調
対応原稿	最大 A4 サイズ 単票、本、立体物（最大 2kg）
対応コピー用紙	カセット給紙：64g/m^2 ～ 128g/m^2 マルチフィーダ：64g/m^2 ～ 128g/m^2 普通紙、再生紙、OHP フィルム、封筒、厚紙（最大 128g/m^2）、はがき、往復はがき

コピーサイズ	A4（210mm × 297mm）
プリント不能領域	用紙：各端部最大 5mm 封筒：各端部最大 5mm
ウォームアップ時間	約 260 秒＊（温度：20 ℃、湿度：65%、電源投入時から待受表示が現れるまでの時間） ＊ ウォームアップ時間は本製品を使用する条件と環境によって異なる場合があります。
初回コピー時間	約 13.8 秒 A4 または LTR サイズ、等倍、手動濃度調節、カセット給紙（節電モードからの復帰直後を除く）
コピー速度	等倍：A4 20 cpm、LTR 21 cpm
倍率	1：1 ± 1.0%、1：2.000、1：1.416、1：1.224、1：1.157、1：0.865、1：0.817、1：0.706、1：0.500 変倍：0.500-2.000、1%幅
給紙システム	カセット給紙：64g/m^2 の用紙 250 枚 マルチフィーダ：1 枚
コピー部数	1-99
必要電源	100V、50/60Hz
消費電力	約 0.7kw（最大）
外形寸法 (W × D × H)	449 mm × 520 mm × 369 mm
設置スペース (W × D)	449 mm × 520 mm（カセット取り付け時）
重量	約 12kg（カートリッジ含む）

製品改良のため仕様は予告なく変更する場合があります。
じゅうぶんなプリント品質を得るために、キヤノンの推奨する用紙と OHP フィルムのご使用をおすすめします。
市販の用紙には本製品での使用に適さないものがあります。用紙および OHP フィルムについてご不明の点があるときは、お近くのキヤノン正規販売店かキヤノンサービス担当にご連絡ください。

索引

記号

O

U

あ

か

さ

た

な

本書は、本文に70%の
再生紙を使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

ナビダイヤル **050-555-90024**

［受付時間］ 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

FA7-6228 (000) 082004xx © CANON INC. 2004 PRINTED IN CHINA